



校正依頼書

東京航空計器株式会社 品質保証部 校正課 |
Email: info-cal@tkk-air.co.jp TEL: 042-798-6630

記入日	yyyy/mm/dd 2021年6月1日	受注番号/WBS番号(弊社)	1234567890	受付番号(弊社)	Q212000
-----	-------------------------	----------------	------------	----------	---------

校正依頼者 (校正証明書の宛名)					
会社名	東京航空計器株式会社				
住所	東京都町田市小山ヶ丘二丁目2番地6				
担当者	長原 歩	所属	校正室 校正課		
TEL	042-798-6630	FAX	042-798-6641	E-Mail	ayumi-nagahara@tkk-air.co.jp

申込者 (上記校正依頼者と同じ場合、記入は不要です)					
会社名					
住所					
担当者		所属			
TEL		FAX		E-Mail	
弊社営業担当		所属	産機営業部	担当者	坂尻

ご依頼品					
	品名	製造者名	型式	器物番号	
1	デジタル圧力計	東京航空計器株式会社	DG-950N-G-100kPa-00	4321	
仕様	範囲: 0~100 kPa G 精度: ±(0.05 %FS+1 digit) 継手: Rc1/8		管理番号	987654321	
2	外付けセンサ	東京航空計器株式会社	TP-6000-V-100kPaG	1234	
仕様	0~200 kPa G PT1/8		管理番号	123456789	
3					
仕様			管理番号		

校正内容					
<input checked="" type="checkbox"/> 前回と同じ校正内容 前回は成績書又は証明書番号: Q210000					
実施項目	① 校正/初検	② 調整		③ 再校正	
一般校正	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 誤差が許容値の 75 %超の場合調整		<input checked="" type="checkbox"/>	
JCSS校正	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調整前に連絡 <input type="checkbox"/> 調整前の検査成績書発行		<input type="checkbox"/>	
校正媒体	気体 <input checked="" type="checkbox"/> 窒素(標準) <input type="checkbox"/> 乾燥空気		液体 <input type="checkbox"/> Spinesstic22(標準) <input type="checkbox"/> セバケイト <input type="checkbox"/> 禁油(油水変換)		
校正点	0, 20, 40, 60, 80, 100, 80, 60, 40, 20, 0 [%]				
要求書類	<input checked="" type="checkbox"/> 和文 / <input type="checkbox"/> 英文		検査成績書 × 1 部	トレーサビリティ体系図 ×	部
	JCSS/MRA校正証明書 ×		部	一般校正証明書 ×	1 部
				トレーサビリティ証明書 ×	部
校正年月シール貼り付け	<input checked="" type="checkbox"/> 要 / <input type="checkbox"/> 否 (チェックが無い場合は、貼付します。)				
希望納期	2021年6月30日	契約納期(弊社)	2021年6月30日	完了日(弊社)	

連絡事項		受領印
ノートPC 通信ケーブル		
		受付担当:

校正依頼者 (校正証明書の宛名)

会社名、住所 会社名と住所は、校正証明書に記載する通りに記入して下さい。
例) 「株式会社」と「(株)」、「二丁目2番地6」と「2-2-6」、大文字・小文字等は必ず確認して下さい。
(検査成績書は会社名のみ記載となります)
弊社営業担当 弊社営業担当が不明の場合は、記入不要です。

ご依頼品

1~3 本体(又は表示器)と外部接続のセンサ等があり、各機器毎に型式・器物番号がある場合は、全て記入して下さい。
例1) 『本体+外付けセンサ』で、『外付けセンサ』が複数あり、それぞれ校正を依頼される場合は、『1:本体』、『1:本体+2:センサ①』、『1:本体+2:センサ②』...と各組合せ毎に本依頼書を作成して下さい。
例2) 重錘形圧力天びんの場合は、『1:本体』、『2:重錘』、『3:ピストン・シリンダ』を記入して頂き、ピストン・シリンダが複数ある場合は、『1:本体+2:重錘+3:ピストン・シリンダ①』、『1:本体+2:重錘+3:ピストン・シリンダ②』...と各組合せ毎に本依頼書を作成して下さい。
(温度計、真空計等の周辺機器は、『連絡事項』の欄をご利用下さい。)
圧力の範囲、種類、精度、継手のサイズ等記入して下さい。
一台に複数のセンサ(レンジ)がある場合は、「R1:0~200 kPa G R2:0~1000 kPa G 大気圧センサ:75~115 kPa A」等記入して下さい。
(記入しきれない場合は、下段(2、3)又は『連絡事項』の欄をご利用下さい。)
要求書類に、ご依頼品の貴社管理番号を記載する場合は、記入して下さい。

校正内容

実施項目 ご希望の実施項目のみにチェックを入れて組合わせて下さい。
初検の後、調整を希望される場合は、誤差が許容値の何%超の場合調整するかを記入して下さい。
初検の結果によって調整するか決める場合は、『調整前に連絡』にチェックを入れて下さい。
調整前の検査成績書が必要な場合は必ずチェックして下さい。
例1) ①一般校正又はJCSS校正 (校正のみで調整は不要)
例2) ①一般校正 → ②調整 → ③一般校正又はJCSS校正 (初検後、指定の許容値を超えた場合、調整と再校正を実施)
例3) ①JCSS校正 → ②調整 → ③JCSS校正 (調整の前後共にJCSS校正)
校正媒体 使用する圧力媒体を選択して下さい。(仕様による指定、又はご希望が無い場合は、標準の媒体を使用します)
禁油(油水変換):7MPaを超える圧力では液体媒体使用しますが、油が使用できないご依頼品の場合は純水を充填して校正を行います。
校正点 ご希望の校正点、又は校正点数を記入して下さい。
(JCSS校正の場合は、0を含まない片道5点(20%毎)以上の往復になります。)
例1) 0, 20, 40, 60, 80, 100, 80, 60, 40, 20, 0 [kPa]
例2) 0, 20, 40, 60, 80, 100, 100, 80, 60, 40, 20, 0 [kPa]
例3) 0, 20, 40, 60, 80, 100, 50, 0 [%]
例4) 0含む10%毎の往復19点
例5) メーカーの成績書又はマニュアル通り。(メーカー成績書添付、又は基04-000-00等記入。)
要求書類 和文/英文、必要部数を記入して下さい。
ご依頼品に『校正年月シール』を貼付いたします。不要な場合は否にチェックをして下さい。
希望納期を記入して下さい。(ご希望に添えない場合は別途調整させていただきますのでご了承下さい。)
連絡事項 付属品等分かれば記入して下さい。
その他、協議事項。
センサの設置姿勢の指定。
高さ基準位置の指定。

校正等業務を遂行する上で知り得たお客様の業務上の情報を、他に漏らさないことをお約束します。但し、ISO/IEC17025等の審査を受ける際に認定機関に対し申込書等を審査資料として開示する場合、法令または官公署からの命令・要請等があった場合には弊社の判断で第三者に開示することがございます。